



鹿田小だより



元気いっぱい 勉強こつこつ 親切ハートの
岡山市立鹿田小学校



令和2年度 第5号 6月17日



雨の多い季節になりました。



今年も、2年生以上の子どもたちに、鹿田っ子の合言葉でもある「元気・勉強・親切」について、自分の目標を書いてもらいました。（1年生には2学期に書いてもらいます。）

全体で、「毎日～する。」という目標が478個ありました。毎日続けることはいいことです。目標に多く使われていた言葉は、『元気』では、「運動」207人、「遊ぶ」173人、『勉強』では、「〇〇時間」156人、「自主学習」105人、『親切』では、「助ける」251人、「1日〇善」90人という結果でした。

『親切』の中には「友達のいいところを探す」「ありがとうと言ってもらえることをする」「みんなを笑顔にする」などの目標もあり、読んでいて心が温かくなりました。素晴らしい子どもたちです。

目標が達成できているかどうか、学期末など折に触れて振り返ってもらうことにしています。

3つの目標

今年も、2年生以上の子どもたちに、鹿田っ子の合言葉でもある「元気・勉強・親切」について、自分の目標を書いてもらいました。（1年生には2学期に書いてもらいます。）

全体で、「毎日～する。」という目標が478個ありました。毎日続けることはいいことです。目標に多く使われていた言葉は、

『元気』では、「運動」207人、「遊ぶ」173人

『勉強』では、「〇〇時間」156人、「自主学習」105人

『親切』では、「助ける」251人、「1日〇善」90人

という結果でした。

『親切』の中には「友達のいいところを探す」「ありがとうと言ってもらえることをする」「みんなを笑顔にする」などの目標もあり、読んでいて心が温かくなりました。素晴らしい子どもたちです。

目標が達成できているかどうか、学期末など折に触れて振り返ってもらうことにしています。

成長日記 パート2

【1年生 あさがお】



毎日水やりをしています。双葉に続いて、本葉がたくさん出てきました。つるも少し伸びてきました。花はいつかな？

【2年生 ミニトマト】



大きくなり、黄色い花がたくさん咲いています。緑色の小さな実も少しずつ付き始めました。赤くなるのが楽しみです。

がんばれ、ブラスバンビー！

放課後の学校にこの素敵な音が帰ってきました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動を休止していたブラスバンビーですが、学校再開と同時に活動を再開しています。3密を避けるため、体育館全体に広がったの練習ではありませんが、家での練習とは違い、みんなと音を合わせることに喜びを感じながら、真剣に取り組んでいます。



救急法研修

毎年、プール学習の開始に合わせて「心肺蘇生法」の研修を職員で行っています。今年もプール学習はありませんが、心肺停止などが、いつ、どこで起こっても落ち着いて対処できるようにと、今年も全員で研修しました。

心肺蘇生法とは心停止の患者に「胸骨圧迫」と「人工呼吸」を組み合わせて行うものです。その際欠かせないのが「AED（自動体外式除細動器）」で、学校には体育館と保健室にあります。

【心肺蘇生の主な手順】

- ①呼吸の確認→②救急車とAEDの要請→③胸骨圧迫（30回）→④人工呼吸（2回）→⑤③と④を交互に繰り返す→⑥AEDの使用

心肺蘇生法を知っていれば、身近な人の命を救うことができるかもしれません。みなさんも機会があれば、ぜひ研修をされてはいかがでしょうか。



学校長のつぶやき ～校長の仕事～

6月10日、1年生が生活科で、「学校にいる先生のお話を聞いて仲良くなろう」という学習をしました。話の内容は「〇〇先生の仕事」でした。話を聞いた先生は、用務の沖永先生、保健室の佐藤先生、購買の吉田先生、生活指導の藤村先生、そして私でした。

私が話をしたのは校長室前の廊下です。新型コロナウイルス感染防止のために全員マスクを付け、静かに聞くことができました。緑色のベストを着て、

みんなのあんぜん



みんなのよいとこみつけ



みんなのようすをみる



朝、自転車でパトロールをしているのはほとんどの児童が知ってくれていました。また、「みんなの良い所をたくさん見つけてほめてあげる仕事もあるよ。」と話す、とてもうれしそうでした。「1年生への願い」として、友達と仲良くしてほしいこと、毎日元気に学校に来てほしいこと、学校やお家でコツコツ勉強してほしいこと、周りの人に親切にできる優しい心をもってほしいことを話しました。自分たちの周りにはいろいろな仕事をしている人がいることや、自分たちの生活がたくさんの人に支えられていることなどを、感じることはできたのではないのでしょうか。

1年生のこの学習は、6年生のキャリア教育へと続いていきます。6年生は3学期のかえで学習の時間に、「マイドリーム」という学習に取り組みます。自分が選んだ職業に就くためには、どのような道筋をたどればよいのかを、本やインターネットなどを使って調べ、プレゼンテーションソフトを使って発表するという学習です。その過程の中で、いろいろな分野で活躍している人の話を聞いたり、自分の夢に向かって努力し、その夢をかなえた人と交流したりすることで、その人たちの考え方や心構えなどを自分の生き方に取り入れていきます。昨年度の6年生が発表している様子を見ましたが、胸を張って堂々と発表できており、とても感心しました。

2015年に野村総合研究所が発表した分析によると、今から10年～20年後には、約半数の職業が、機械や人工知能によって代替が可能になるのだそうです。一方、今はない新しい職業が生まれるだろうと予測している人もいます。子どもたちが就きたいと思っている職業が10年後にもあるかどうかは分かりませんが、大切なのはどの職業に就くかということよりも、その職業（仕事）にどれだけ誇りをもって取り組めるか、ということだと私は思います。

「世界は誰かの仕事でできている」というCMがありました。誰の役にも立たない仕事は1つもありません。子どもたちには、将来、自分の職業（仕事）に誇りをもてる人であってほしい、そんな生き方をしてほしいと思います。私もそうありたいと思っています。